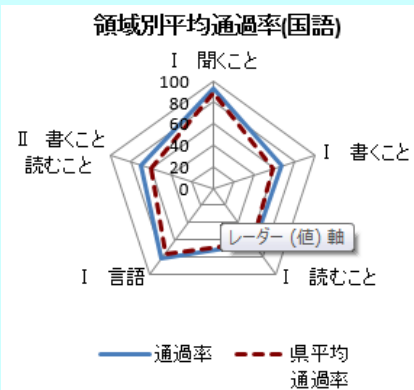
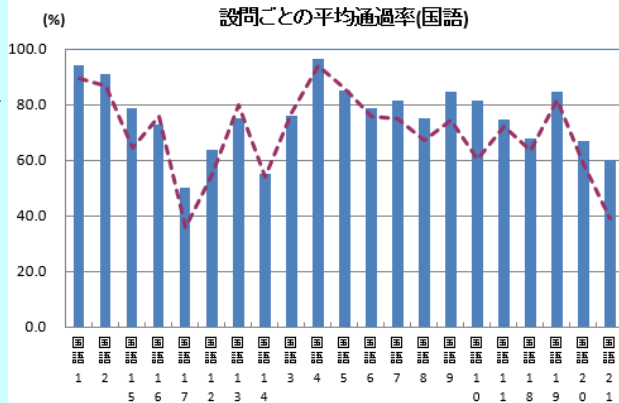


「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 75.8%, 県 69.7%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

- 聞くことは92.6%、言語は81.4%の通過率となっている。この結果から、2つの領域の基本的な内容については定着が図られていると考える。また、通過率50%以下の設問はない。
- 「書くこと」の通過率は、昨年度64.2%で今年は67.2%とあまり伸びていない。単元の特徴に応じて、書く活動を取り入れて、結論と根拠を明確に区別することを意識して書かせることが必要である。
- 明らかとなった課題として、I「叙述の仕方の確認」の通過率が50.0%で、県の平均は超えてはいるものの半数が理解できていないことがあげられる。なお、通過率30%未満の生徒が7人おり、基礎学力の定着のための支援が必要である。

重点課題

【課題1】

「要旨の把握」の平均通過率が54.8% (広島県平均 53.7%) である。探査機「あかつき」についてまとめた文章のカッコに、当てはまる適切な2つの言葉の組み合わせを答える問題で、片方はほとんどの生徒が適切なものを選んでいった。しかし、もう一方が選びきれていなかった。

【課題2】

「叙述の仕方の確認」の平均通過率が50.0% (広島県平均 35.9%) である。2つの条件のうち、意味を変えずに2つの文にすることはできるが、2文目で、述語に対する適切な主語を補うことは、半数の生徒が十分理解できていない。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】

説明的な文章の内容を読み取る指導において、各段落のキーワードを抜き出して要旨を簡潔にまとめる学習を丁寧に行う。同時に要旨を捉えるために、文章構成に注目させ、段落の役割や筆者の論の進め方について考えながら文章を読ませる指導を行う。

【課題2】

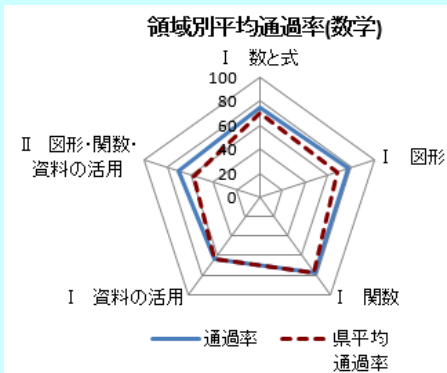
平素から主語を意識して表現することを徹底する。文章の読み取りの場合は、「何がどうした、どうなった、どんなだ」ということを明らかにする活動を設定し、文の構成が複文や重文の場合は、主語述語の関係を分けて書き換える作業を取り入れる。特に通過率30%程度の生徒は、話す活動を取り入れたり、授業でペア学習等の場を増やしたりして、主語述語の確認や叙述の仕方を理解する力の定着を図りたい。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			2年生 H28「基礎・基本」		1年生 冬休み明けテスト	1年生 H27「基礎・基本」	1・2年生 学年末試験
目標値			70.0%		40.0%	45.0%	50.0%・75.0%
実施後数値							

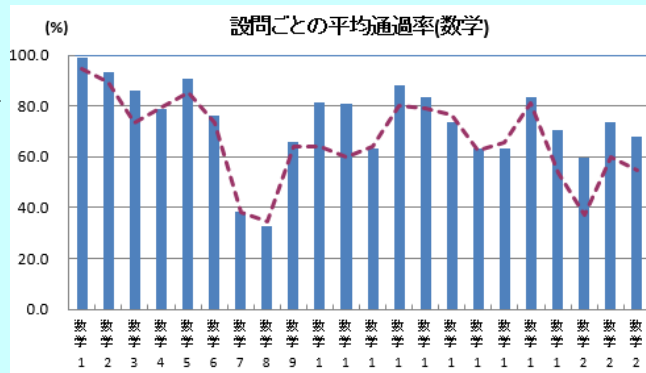
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			2年生 H28「基礎・基本」		1・2年生 冬休み明けテスト	2年生 H27「全国学力」	2年生 学年末試験
目標値			65.0%		45.0%・70.0%	70.0%	72.0%
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 73.3%, 県 66.8%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

- 数学の結果において、タイプⅠは74.0%、タイプⅡは71.0%の通過率となっている。タイプⅠ、Ⅱとも概ね定着を図られていると考えられる。その一方、タイプⅠでは、文字式の表し方の問題において、正答率が40%弱であった。また、関数分野と資料の活用において、の正答率が他の領域を比べて低かった。タイプⅡにおいては、すべての問題で正答率は県平均を大きく超えていた。
- 昨年の課題として、「資料の活用」と「関数」に課題が見られた。表においてxとyの値の関係に着目した授業展開をしたところ、関数の反比例と表と式の関連についての通過率は83.5%であった。しかし、「資料の活用」においては、通過率が低く用語の意味の理解に課題が見られた。

重点課題

【課題1】

数量の関係を文字に用いた式で表す問題に課題がある。

〔通過率 大問2. (1) 38.3%, (2) 32.4%〕

【課題2】

数量や図形についての知識・理解で相対度数の意味が理解できていない課題がある。(通過率63.3%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】

数量の関係や法則などを数や言葉の式、□、△などを用いた式に表してその意味を読み取ったり、具体的な数を当てはめて考えたりする活動を行い、その関係の把握を容易にし、文字のもつ一般性について丁寧に取り扱い、文字に対する抵抗を無くすようにする。

【課題2】

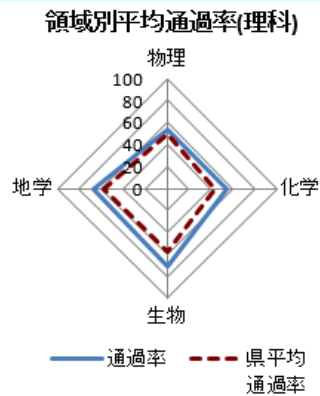
相対度数だけに関わらず、代表値などの特徴や意味を説明させる活動をつくり、語句を正確に理解させ定着を図る。また、資料を分析する内容を取り扱う際には、ペアや班で話し合うなど、数学的に説明する学習活動を工夫する。また、身近な資料を取り扱うなど学習意欲が上がるよう工夫する。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生 H28「基礎・基本」		2年生 H28「基礎・基本」		2年生 後期第2回定期試験		1年生 学年末試験
目標値	60.0%		65.0%		70.0%		80.0%
実施後数値							

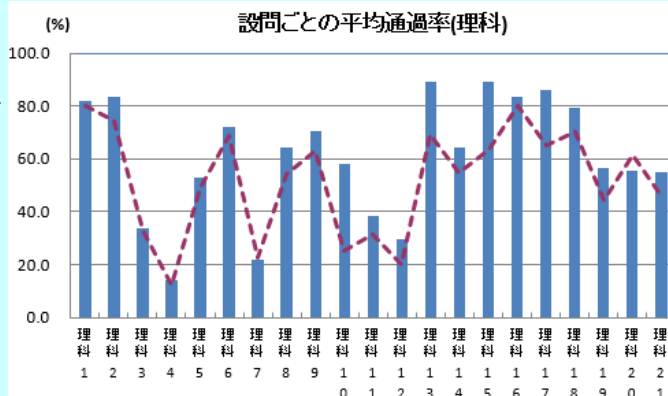
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生 H28「基礎・基本」		1年生 後期第1回定期試験		2年生 後期第2回定期試験		1・2年生 学年末試験
目標値	60.0%		65.0%		70.0%		80.0%
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 60.9%, 県 51.8%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

- 理科の通過率は、タイプⅠは65.5%、タイプⅡは54.7%の通過率である。タイプⅠで通過率の高かった領域・内容は、生物「被子植物の根の名称を問う問題」(89.4%)、タイプⅡは、生物「コケ植物の生息条件を基に生息場所を推測する」(83.5%)であった。タイプⅠで課題がある領域・内容は、物理「力の表し方を問う作図の問題」(13.8%)、タイプⅡでは化学「再結晶について溶解度と関係づけて説明する問題」(21.8%)であった。
- 基本的な理科用語を問う問題の通過率は、どの分野も高い。しかし、理科用語を身近な事物・現象と関連付けて答える問題に課題がある。
- 「実験結果をもとに考察する」、「実験結果を分析・解釈して、結論を導き出す」など、科学的な見方や考え方を問う問題の通過率が今年度も(平均 昨年度⇒59.2%, 今年度⇒54.7%)低い。じっくり考えさせる取組が必要である。

重点課題

【課題1】

力の表し方について、「接してはたらいっている力」、「離れてはたらいっている力」の違いが十分に理解していないために、矢印の根元の位置を多くの生徒がボールの中心から書いている。(通過率13.8%)

【課題2】

水溶液を冷やしたときの再結晶について、溶解度と関係付けて説明する問題に課題がある。「飽和水溶液」、「溶解度」について十分理解できていないために、塩化ナトリウムの結晶がとり出せない理由を正しく説明できていない。(通過率21.8%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

【課題1】

力の表し方について、「何が何に力をおよぼしているのか?」を意識させるとともに、「どこに力が加わっているのか」、その力は、「物体全体に加わっているのか」、「物体のある場所なのか」その違いを確認しながら問題を解かせる。通過率30%未満の生徒については、くり返し確認テストを行い、知識の定着を図る。

【課題2】

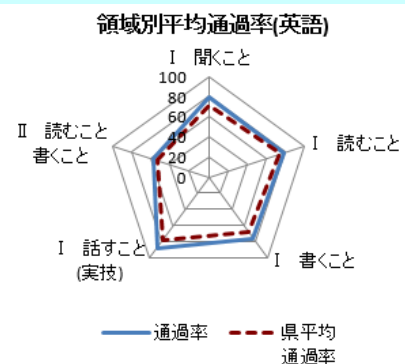
実験の目的を明確に提示し、その検証方法について十分考えさせて実験を行う。また、実験結果を分析・解釈して、自分のことばで説明できる力をつけさせるために、個人で考える時間を十分に確保するとともに、班や全体で考えの交流や、どのように説明すればいいのかそのポイントを丁寧に説明する。通過率30%未満の生徒には、導入時に本時の学習が身近な生活にどのように関連するのか、好奇心を高める教材の工夫を行う。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			1・2年生 後期第1回定期試験		2年生 H28「基礎・基本」		1・2年生 学年末試験
目標値			40.0%		50.0%		60.0%
実施後数値							

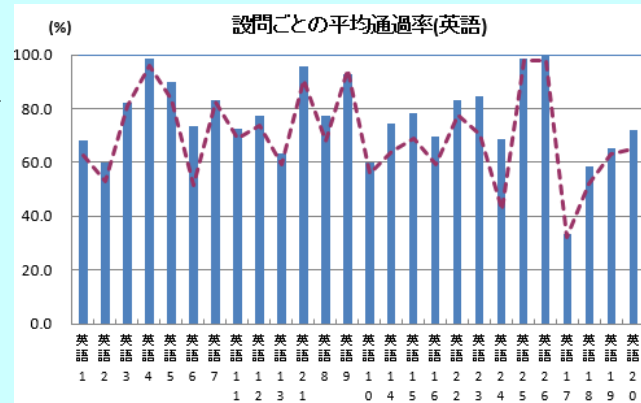
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			1・2年生 後期第1回定期試験		2年生 H28「基礎・基本」		1・2年生 学年末試験
目標値			35.0%		45.0%		50.0%
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 76.2%, 県 69.6%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

- 英語科の結果について、タイプⅠの通過率は79.6%であり、基礎的・基本的な力はおおむね定着していると思われる。一方で、タイプⅡの通過率は57.3%であり、英文を読み取り適切な英文を書くことや、根拠を明確にして英文を読み取ることについては課題がある。
- 昨年の課題であった3人称単数現在形を正しく用いることについては、昨年度61.3%の通過率であったが、今年度は69.7%となっており、改善が見られる。引き続き、主語を意識しながら、動詞を正しく使い分ける指導が必要である。
- 英語を「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4技能の中では、「書くこと」の通過率が最も低く75.5%であり、課題が見られる。特に疑問詞を用いた語順正序や、簡単な英作文については指導が必要である。

重点課題

【課題1】

読み取った英文から、「適切な質問を考え英文を書くこと」の設問の通過率は33.5%と最も低く、英文の正確な読み取りとともに、疑問詞を用いた英文を作ることには大きな課題がある。

【課題2】

読み取った英文の理由を説明する「根拠となる英文の読み取り」の設問の通過率は58.4%と、【課題1】に続いて低い通過率であった。英文を読み取る際に、文と文のつながりを意識して読むことに課題が見られる。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

【課題1】

疑問詞を用いた英文の用法を定着させるために、毎時間ウォームアップで what, who, which, how, where, などを用いた疑問文でクリスクロスゲームを取り入れたり、ペアトークを行うなど、まず「話すこと」から疑問詞を用いたアクティビティを取り入れ、プログラムごとの確認テストなどで問題演習を通して「書くこと」につなげられるよう指導する。

【課題2】

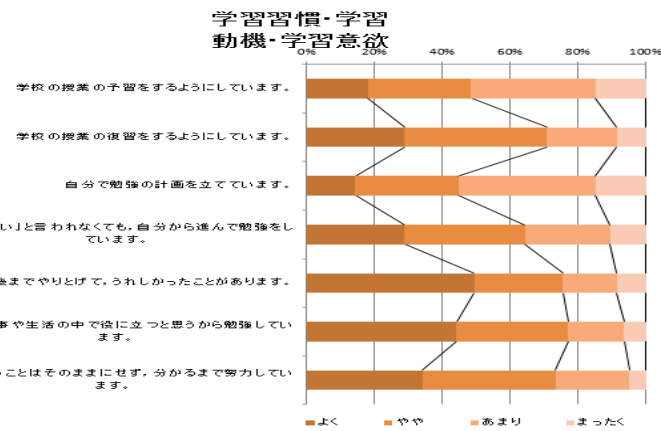
文と文とのつながりを意識して英文を読ませるため、接続詞に着目して文を読み取る指導を行う。各プログラムで扱う英文読解についてだけでなく、プログラムの終わりごとにも、ある程度まとまりのある英文を読ませ、接続詞に着目しながら文と文との関係を読み取るよう指導する。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			2年生 H28「基礎・基本」		2年生 後期第2回定期試験		2年生 学年末試験
目標値			50.0%		60.0%		70.0%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			2年生 H28「基礎・基本」		2年生 後期第2回定期試験		2年生 学年末試験
目標値			60.0%		70.0%		80.0%
実施後数値							

質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査）

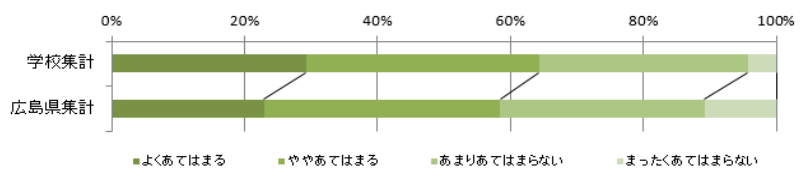
(1) 生活・学習



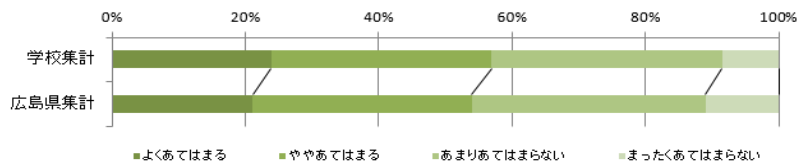
生徒の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
学習習慣に関する質問に対して、「学校の授業の予習をするようにしています。」(48.4%)、「自分で勉強の計画を立てています。」(44.7%)と肯定的な回答をした生徒の割合が他の項目より低い。	各授業の取組において、課題発見学習を取り入れることで生徒の学習意欲を高める。また、定期試験において、学習計画を立てさせ、評価・振り返りを行うことで、計画的に学習することの大切さに気づかせる。	1・2	65%	生徒アンケート調査	2月		

(2) 教科

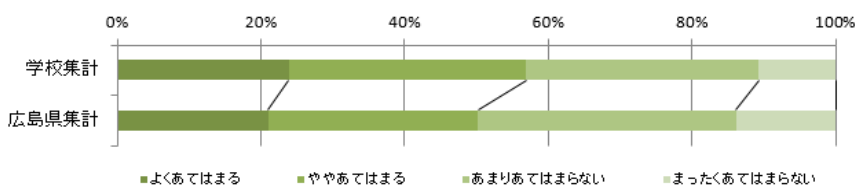
国語の授業で学んだことを、ふだんの生活で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるのか考えたりしています。



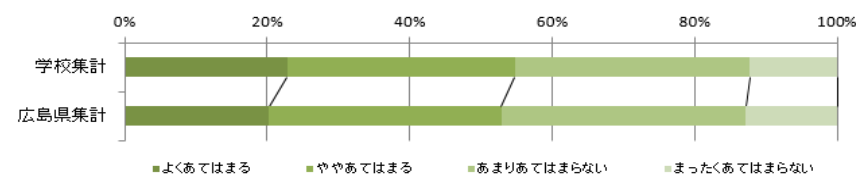
数学の授業では、解き方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。数学の授業では、解き方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。



理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり、発表したりしています。



英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしています。



	生徒の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	「国語の授業で学んだことを、ふだんの生活で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるのか考えたりしています。」の問いに肯定的な回答をした生徒の割合が64.4%であった。	単元の指導の過程の中に、学びを生活の場面で活用することを考えさせる場面を設定する。自己評価カードの項目に、「学んだことを生活に役立てる場面を考えよう。」という項目を入れる。	1・2	70%	生徒アンケート調査	2月		
数学	「数学の授業では、解き方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。」の問いに肯定的な回答をした生徒の割合が56.9%であった。	日々の授業の中で、個人で考える時間を確保して、ペア・班で考える時間、教え合う時間をとる。数学的用語を適切に使えるように意味を確認、徹底する。	1・2	65%	生徒アンケート調査	2月		
理科	「理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり、発表したりしています。」の問いに肯定的な回答をした生徒の割合が56.9%であった。	自分の考えを組み立てる時間を十分に確保する。班で話し合う場面、教え合う場面だけでなく、班の考えを積極的に発信する場面を増やし、他の班の意見を聞き、もう一度個人で考えさせるなど、思考を深めさせる。	1・2	65%	生徒アンケート調査	2月		
英語	「英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしています。」の問いに肯定的な回答をした生徒の割合が54.8%であった。	単元ごとにリスニングテストを実施し、その際、聞き取りのポイントをあらかじめ指導するとともに、ポイントに関する事柄をメモしながら聞き取るよう指導する。	1・2	65%	生徒アンケート調査	2月		